



杉森 賢二 議員



毎年恒例長野県青木村のりんご狩り

Q

地域産業のさらなる発展で強い経済を

A

連携を強化し地元企業をサポートしていく

新たな産業政策を

問 地元企業との取り組みとその普及効果、産業の将来的な構想は。

都市環境部長 当町で製造された水力発電水車が

活用と農業分野での経済活動の好循環を目指す新たな展開を事業者と協働で考えていきたい。

問 高齢者に対し町内の交通手段の充実は。

住民福祉部長 高齢者の外出機会の拡大と社会参加の促進をはかるため、

問 小水力発電の進捗は。くらし環境課長

27年3月に民間事業者が桜堤に設置。さらに上流部に発電装置の増設を検討している。町は民間事業者と協働で再生可能エネルギーの活用を推進したい。

全国に発信されている。また、現在民間事業者よりわざわざ田付近で小水力発電を設置したいという構想の相談を受けているため、自然エネルギーの

問 本気の観光産業政策で鮎壺公園に大型バスを

部長 公園整備に合わせジオパークの認知度なども考慮し、大型バス駐車場整備の可能性を考える。

町指定路線バス、タクシー、長泉・清水循環バスを検討、75歳以上の在宅高齢者を対象に来年度より毎年5千円分の利用助成券を交付する予定。

Q

国内の姉妹都市・国際姉妹都市の連携は

A

信頼関係を保ち人的な交流を続けていく

姉妹都市交流

問 長野県青木村との交流の今後は。

までどおり、双方の利益につながるような交流を継続していきたい。

ず、さまざまな地域・人との交流機会の増加も予想されるため、交流の可能性は広げていきたい。

産業振興課長 宿泊施設利用費助成制度や「りんごの木オーナー制度」のさらなるPRに努めたい。また、交流はとも有意義なものであると認識しているため、今後もこれ

問 ワンガナイ市との交流計画は。

総務部長 人的交流による友好関係発展を目指すため、国際交流協会と協議の上、同協会が実施している中学生語学研修の派遣枠拡大などに向け取

その他の質問
・健康と食文化のさらなる推進を

さらなるPRに努めたい。また、交流はとも有意義なものであると認識しているため、今後もこれ

問 オリンピック・パラリンピックをきっかけに新たな交流の計画は。

部長 今後、国内外問